

# グループ紹介



## ～健康くまの21 その後の活動を追跡取材！～

### 「いまいき野菜園」は『畑の学校くまの』に発展



▲見晴らしの良い耕作地

「熊野の風土にあった、簡単で効率的な、おいしい野菜作りを勉強しています。」そう説

約2年前の発足時7名であった会員も男女25名に増え、地主の協力の下、活動は順調に進んでいます。現在では、町内のみならず広島市や呉市など、近隣市町の方もいます。会員のほとんどが農業経験はありませんが、  
①健康の維持、②安全安心な食生活、③美しい地域づくりの3つを目標に、無理なく、楽しく活動しています。

平成17年度に健康増進計画が策定され、健康づくりに関する様々な活動がスタートしました。その一つ「いまいき野菜園」（くまの議会だより第62号で紹介）は、子供たちとの交流、施設への食材提供なども進め『畑の学校』に進化しています。

本日の作業はスイカの地下づくり。45センチ程度の穴を掘り、様々な肥料を配合して土と混ぜ、上からビニールで覆ったらできあがり。言葉にすれば簡単ですが、みんなで力をあわせないとできない仕事です。

明してくれたのは、会の代表 兼先生の今井さん。そこへ参加者が一言、「となりの畑を見てみんさい、ようできとるじゃろ」一面に広がる玉ねぎ畑、どれも立派な生育振りです。すいか、さつまいも、たまねぎ、じゃがいも…など、昨年もたくさん種類の野菜が収穫されています。



▲土づくりを説明する代表の今井さん

この日の参加者は13名でしたが、みんなが無理なく、楽しくやっているため、あちこ

「ここで学んだ何人かが、また他の場所で活動し、町中はこの活動が広がってくれたら…」と今井さん。目標の一つにあった美しい地域づくり。遊休農地が畑へと生まれ変わることで、熊野町の美しい農村風景が保たれる。農作業で健康を維持することが、そのまま地域貢献につながっていることを意味しています。



▲できあがったばかりの看板の前で記念撮影

#### 問合せ先

代表 今井 基（石神）  
電話 854-16010

#### あとかき

鯉のほりたなびく町内。行楽に出かけるには絶好の季節。そんな中、土日休日は高速道路料金が1000円になり、各地の高速道路、サービスエリアは大賑わい。これも特定給付金と並ぶ景気浮揚対策。

次の妙案（奇妙案）は、新車登録から13年以上経過した車を廃車にし、10年度燃費基準を満たした車を購入する場合、普通車で25万円、軽自動車で12.5万円を補助するらしい新経済対策も発表された。

エコカー減税と合わせると、次世代自動車（ハイブリッド等）を購入した場合、40万円を超える負担減もあるようだ。環境に優しい景気対策と同じように、個人に対しても優しい福祉政策をぜひお願いしたい。

藤本 哲智

次の定例会は、  
**6月10日(水曜日)**  
開会を予定しています

議会だより題字  
**世木田江山さん**

表紙写真  
入学式のようなす  
(熊野第四小学校)